

## [その他のお知らせ]

- \*近年の市町村合併等に伴い、博物館等の施設の施設名や住所が変更になっているところがあります。利用に当たってはご注意ください。
- \*財団法人アイヌ無形文化伝承保存会は、2007(平成19)年度末をもって解散しました。同会が発行した視聴覚資料についての問い合わせ等の窓口は、社団法人北海道アイヌ協会(011-221-0462)となっています。

- ★当研究センターは、2009(平成21)年3月に、下記の住所に移転しました。
- ★当研究センターのホームページは、2010(平成22)年3月に、下記のアドレスに移転しました。

◆ 発行 平成22年6月  
◆ 編集 北海道立アイヌ民族文化研究センター  
〒 060-0003  
札幌市中央区北3条西7丁目 緑苑ビル1F  
TEL 011-272-8801 / FAX 011-272-8850  
<http://ainu-center.pref.hokkaido.jp>

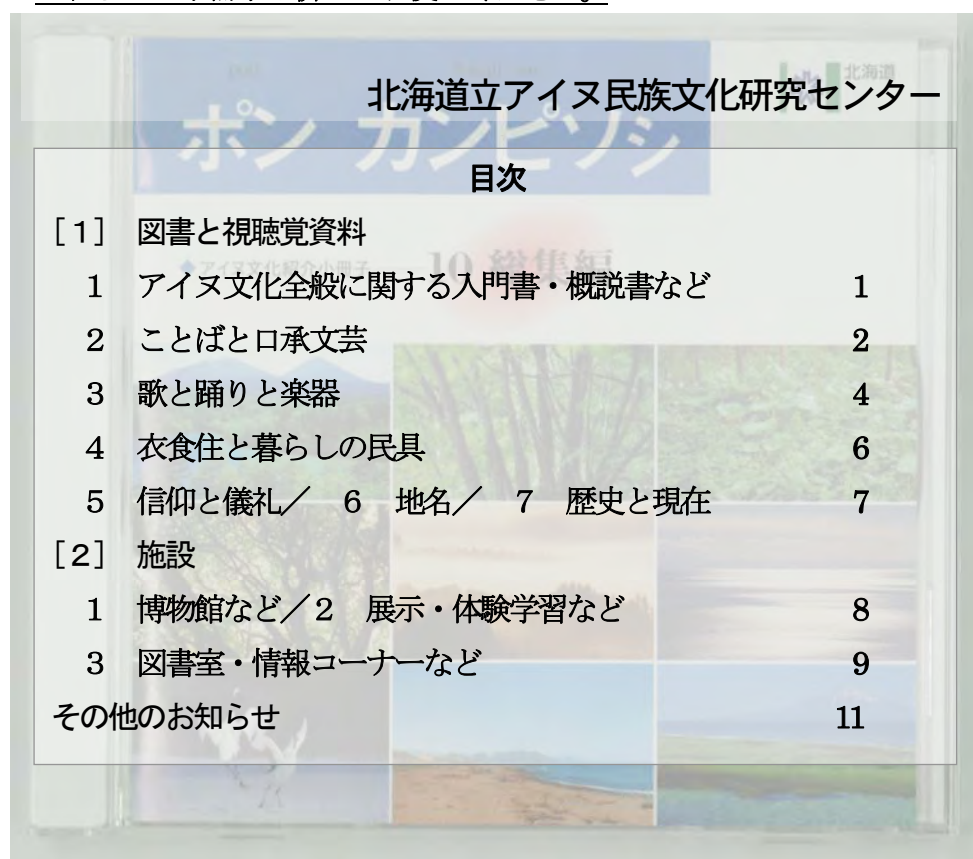
## 「アイヌ文化を学ぶために」 新しい情報のお知らせ

2010(平成22)年6月版

当研究センターが2005(平成17年)3月に発行した『アイヌ文化紹介小冊子 10 総集編』は、巻末に「アイヌ文化を学ぶために」と題したページを設け、アイヌ文化について学ぶことのできる図書や視聴覚資料のほか、博物館などの施設について紹介しました。

このリーフレットでは、その後、2010(平成22)年5月までに当研究センターで確認した、新たな出版物や施設に関する情報などをまとめました。

これまでの小冊子と併せてお使いください。



北海道立アイヌ民族文化研究センター

ポン カンピソシ

目次

[1]	図書と視聴覚資料	
1	アイヌ文化全般に関する入門書・概説書など	1
2	ことばと口承文芸	2
3	歌と踊りと楽器	4
4	衣食住と暮らしの民具	6
5	信仰と儀礼	7
6	地名	7
7	歴史と現在	7
[2]	施設	
1	博物館など	8
2	展示・体験学習など	8
3	図書室・情報コーナーなど	9
	その他のお知らせ	11

注 1) この冊子で「小冊子10、●ページ」のようなかたちで記している場合、このページは、『アイヌ文化紹介小冊子 10 総集編』のPDFファイルのページを表しています。

2) 図書や視聴覚資料については、平成22年4月時点で市販されており購入できるものに、本体価格を記載しました。

## [1] 図書と視聴覚資料

### 1 アイヌ文化全般に関する入門書・概説書など

・新しく次の図書が発行されています。

●財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構（編）『パイェアン ロ ふれてみようアイヌの文化』財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構 2005年3月（改訂増刷2007年3月）

無料（同機構にて配付：電話 011-271-4171）

アイヌ文化に関する体験学習を行っている施設や団体、アイヌ文化に関する資料を展示している博物館などを紹介したパンフレットです。一般の参加や見学ができる主な行事や儀式、イベントなども紹介しています。冊子の内容は同機構のホームページでも閲覧できます。英語版（『paye=an ro Let's Experience Ainu Culture !』）もあります。

・新しく次の視聴覚資料が発行されています。

●【DVD】財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構『イランカラプテ こんにちは アイヌ文化』財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構 2007年3月

アイヌ文化について、現代の伝承・復興活動に重点を置いて紹介しています。

●【DVD】財団法人アイヌ無形文化伝承保存会『アイヌ文化 ～ことば・語り・祈りの世界から～』財団法人アイヌ無形文化伝承保存会 2007年3月（問い合わせ先：社団法人北海道アイヌ協会 電話 011-221-0462）

アイヌの伝統文化に関する記録映像のシリーズ「アイヌ無形文化記録映画ビデオ大全集」から抜粋して作られた、アイヌの伝統文化について紹介する内容のDVDビデオです。

●北海道大学アイヌ・先住民研究センター：

札幌市北区 北8条西6丁目 電話 011-706-2859

\*博物館・図書館のような施設ではないので、資料の閲覧などは行っていませんが、講演会・シンポジウム等の行事を開催しています。行事の案内などは同センターのホームページでも知ることができます。

### 3 図書室、情報コーナーなど

北海道内では、各市町村の図書館がそれぞれの地域を中心に広く北海道の歴史・文化に関する資料を収集しています。そのような中でも、北海道立図書館北方資料室のほか、札幌市、旭川市、函館市、釧路市、帯広市、苫小牧市など大きな都市の図書館の郷土資料室（郷土資料コーナー）は、アイヌ文化に関する文献や視聴覚資料についても比較的多くのものを揃えています。

このほか、近年では、アイヌ文化に関する学習や情報提供を目的に設けられた図書室や情報コーナーも見られるようになりました。ここでは、それらの中から、アイヌ文化に関する図書や視聴覚資料の閲覧・視聴ができる主な施設を紹介します。

●北海道立アイヌ総合センター図書情報室：

札幌市中央区 かでる2・7（7階） 電話 011-221-0462

●財団法人アイヌ民族博物館学習おうえん室：

白老町若草町 電話 0144-82-4199

●財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構しらおいオル事務所「チキサニ」

白老町若草町 電話 0144-82-6301

●帯広百年記念館アイヌ民族文化情報センター「リウカ」：

帯広市緑ヶ丘 電話 0155-24-5352

●アイヌ文化交流センター：

東京都中央区八重洲 電話 03-3245-9831



←帯広百年記念館アイヌ民族文化情報センター「リウカ」



←「リウカ」に置かれている、昔の子どもの遊びを再現したもの

## 2 ことばと口承文芸

・新たに次の図書やCDが発行されています。

- 【CD付き図書】中川裕・中本ムツ子(著)『カムイユカラでアイヌ語を学ぶ』白水社  
2007年5月

1997年に同じ著者によって出版されたアイヌ語入門書『エクスプレスアイヌ語』に続くものです。アイヌの口頭文芸の一つである神謡を題材に、物語を楽しみながら、アイヌ語を学習するための教材です。CDには図書のテキストや練習問題などが録音されています。

- 佐藤知己『アイヌ語文法の基礎』大学書林 2008年3月 8,500円

アイヌ語文法に関する専門的な学習書です。前半の文法篇で文法の基本的事項を学び、後半の講読篇で物語(神謡、散文説話)を実際に読解していく、という構成になっています。

- 奥田統己「[世界のことば・辞書の辞典] アイヌ語」『世界のことば・辞書の辞典 アジア編』三省堂 2008年8月 3,200円

アイヌ語の文法などを解説したものではありませんが、「辞書編纂の歴史」「現代のすぐれた一般辞書」「現代のすぐれた文法書と入門書」などの項目ごとに、アイヌ語の辞書や文法書などをとりあげ、紹介・解説しています。

- 【CD】萱野茂(採録・解説)『新訂 復刻 ウエペケレ集大成』日本伝統文化振興財団  
2005年7月

1974年に発行された『ウエペケレ集大成』(小冊子10、298ページ)の復刻・新訂版です。CDのほか解説書が付いています。



●【CD付き図書】『富水慶一採録 四宅ヤエの伝承 歌謡・散文編』 『四宅ヤエの伝承』  
刊行会 2007年2月

白糠地方の四宅ヤエさんから約40年前に採録したテープのうち、歌および散文の物語を  
活字化したものです。音声を収録したCD5枚が付いています。

●貫塩喜蔵『アイヌ叙事詩 サコロペ』（小冊子10、298ページ）のカセットテープが、2007  
年に発行された『貫塩喜蔵著「サコロペ」の研究』（白糠アイヌ文化保存会）にCD化され収  
録されました。

・北海道教育委員会から、平成16～21年度に新たに次の報告書が発行されて  
います。

●北海道教育庁生涯学習部文化課（編）

『アイヌ民俗文化財緊急調査報告書（ユーカーラ シリーズ）』27～36

『知里真志保フィールド・ノート』（4）、（5）、（6）

## [2] 施設

### 1 博物館など

### 2 展示会・体験学習など

・アイヌの伝統的な民具などの常設展示を行っている博物館、アイヌ文化に関する体験学習などを実施している施設や団体などについて紹介した冊子『パイェアン ロ ふれてみようアイヌの文化』が発行されています。(→このリーフレットの1ページを参照してください)。

・財団法人アイヌ民族博物館では、ホームページ上に「アイヌ民族博物館アイヌ語アーカイブス 祖父母の物語を子どもたちへ」というコーナーを開設しました。

同館が伝承者から録音した100編を超えるアイヌ語の物語について、アイヌ語での語りの一部を聞いたり、物語のあらすじを読んだり、物語をもとに作成された絵本を見たりすることができるようになっています。

<http://www.ainu-museum.or.jp>

・「アイヌ文化を学ぶために」29～31ページ(小冊子10、315～317ページ)に掲載した施設・機関について、次のような変更があります。

#### ●青森市歴史民俗展示館「稽古館」

2005(平成17)年度末をもって休館になりました。

#### ●財団法人大阪人権博物館(リバティおおさか)

2005(平成17)年に全面リニューアルが行われました。常設展のアイヌ民族に関するコーナーに設けられたビデオモニターでアイヌ文化に関連した視聴覚資料が上映されているほか、ロビーなどでも関連する映像資料を見ることができます。



## 5 信仰と儀礼

- 【CD】萱野茂(監修・解説)『熊送り イヨマンテ 神と二風谷アイヌの語らい』日本伝統文化振興財団 2008年 (→この冊子の5ページを参照してください。)

## 6 地名

- 北海道環境生活部総務課アイヌ施策推進室(編)『アイヌ語地名ハンドブック』(小冊子10、311ページ)は、2005年3月に同課により増刷されています。(2010年6月時点で、当研究センターにも残部がございます。必要な方はお問い合わせください。)

## 7 歴史と現在

- 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構『アイヌ民族 歴史と現在』(小冊子10、313ページ)は、2008年3月に全面改訂された版が発行されています。

### 3 歌と踊りと楽器

・新たに次の視聴覚資料が発行されています。

●【CD・DVD 付き図書】財団法人アイヌ民族博物館（編）『西平ウメとトンコリ』財団法人アイヌ民族博物館 2006年3月 9,800円（税別）

アイヌ民族博物館が平成17年度に開催した企画展「西平ウメとトンコリ」の内容を盛り込んだ解説書です。サハリン出身の西平ウメさん\*によるトンコリ演奏などを録音したCDと、トンコリの演奏法や製作の工程の映像を収録したDVDが付いています。

\*小冊子7「芸能」21ページに、西平ウメさんによるトンコリ演奏の様子を写した写真を掲載しています。また、小冊子10には、西平さんによるトンコリ演奏の音も収録しています。

●【ビデオ】北海道アイヌ古式舞踊保存連合会（制作）『国際先住民の10年 アイヌ民族文化祭 ダイジェスト版』（2巻組）北海道アイヌ古式舞踊保存連合会 2006年（問い合わせ先：社団法人北海道ウタリ協会 電話011-221-0462）

社団法人北海道アイヌ協会の主催で毎年開催されている「アイヌ民族文化祭」を記録した映像から、道内各地の17の保存会\*による歌や踊りなどの映像をまとめたものです。それぞれの保存会の簡単な紹介などを収録した冊子が付いています。

\*小冊子7「芸能」の31ページに、これら17の保存会の一覧を載せています。

●【DVD】マクンベツアイヌ文化伝承保存会（企画）『けうとうむ ウメコウポポ全曲集』北海道映像記録株式会社（製作）2006年2月 3,000円（税別）問い合わせ先：幕別町教育委員会生涯学習課 電話0155-54-2006）

幕別町の安東ウメ子さん\*による歌や、それらの録音風景の映像を収録しています。

\*小冊子7「芸能」17ページに、安東ウメ子さんによるムックリの演奏を録音したCDを紹介しています。また、小冊子10には、安東さんによるムックリの演奏の音も収録しています。小冊子3「食べる」では、安東さんによる伝統的な料理の作り方を紹介しています。



- 【CD】 帯広カムイトゥウポポ保存会(編)『SADA UENO ～アイヌ伝統音楽・ウポポ集～』帯広カムイトゥウポポ保存会 2004年

帯広生まれの上野サダさんによる、歌や口承文芸、ムックリの演奏などを収録しています。

- 【CD 付き図書】『富水慶一採録 四宅ヤエの伝承 歌謡・散文編』 『四宅ヤエの伝承』刊行会 (→この冊子の3 ページを参照してください)

- 【CD】 本田安次(監修・解説)、萱野茂(協力)『アイヌ・北方民族の芸能』日本伝統文化振興財団 2008年

1976年に発売されたLPレコードを、CDで復刻したものです。復刻に当たり、現代のアイヌ語研究者らが元のLPの解説書を点検し、新たに、詞章が全面的に改訂されるとともに、現代の研究成果を踏まえた解説文や注記を加えたブックレットが付けられています。

- 【CD】 萱野茂(監修・解説)『熊送り イヨマンテ 神と<sup>にぶたに</sup>二風谷アイヌの語らい』日本伝統文化振興財団 2008年

1978年に発売されたLPレコードを、CDで復刻したものです。元のLPの音源は、1977年に、伝統的な儀式の継承などを目的として日高地方の平取町の人々を中心に行われた、クマのカムイを送る儀式のときのものとされ、このときの歌や踊りのほか、カムイへの祈り言葉などが録音されています。



## 4 衣食住と暮らしの民具

・次の図書が新たに発行されています。

●荻原真子ほか(編)『ロシア民族学博物館所蔵アイヌ資料目録』 草風館 2007年2月  
18,000円

ロシアのサンクトペテルスブルクにあるロシア民族学博物館が所蔵するアイヌ民族資料約2,000点及び写真約200点についての調査報告書です。1998年の『ロシア科学アカデミー人類学民族学博物館所蔵アイヌ資料目録』(小冊子10、306ページ)に続くものです。

●津田命子<sup>のぶこ</sup>『伝統のアイヌ文様構成法による アイヌ刺しゅう入門』(チヂリ編/カパラミプ編) 2008年10月、2010年1月 クルーズ 各1,500円

伝統的な衣服について研究してきた著者が、その成果を踏まえてまとめた刺しゅうの入門テキストです。大きめの図版や写真を使った解説が特徴です。

